



スクラッチでゲームを作ろう

金沢工業大学サイエンス・コミュニケーションプログラム

小学校中学年の子どもたちが、自分で工夫しながらゲームを作っていました。スタートからゴールまでのルートにいろいろなキャラクターを取り入れたり、難関となる要素を置いたりしていました。最後は自分たちが作ったゲームで互いに交流し、楽しい時間を過ごしました。実際にゲームをさせてもらいましたが、どのゲームもとてもよく考えられているものばかりでした。



低学年は「プログラミング的思考育成講座シールでプログラミング」、高学年は「人型ロボット Pepper を動かしてみよう」の講座でプログラミングを体験しました。

3.11 あの日何がおきていたのか

石川県立大学 馬場 保徳 先生

11年前3.11を体験している先生の講座でした。講座の構成は東日本大震災を題材とする「星よりも遠くへ」の上映番組鑑賞の後、「被災経験から誕生した雑草発電」のお話を聞くというものでした。参加された方の多くは上映番組で思わず涙してしまいました。先生自身も体験と重ね合い、言葉に詰まる部分もあったと言われました。そして、雑草発電の研究は災害を乗り越え、役立ちたいという必要性から生まれたものであることを話されました。当初は生ゴミからの発電の研究だったそうですが、震災時には、生ゴミさえも出ない状況だったということです。しかし、発電原料が雑草なら・・・いたるところにあります。より多くの人を救うことができます。雑草発電の可能性に多くの参加者が期待する講座となりました。



ブラックホールを見た日

国立天文台水沢 VLBI 観測所 所長 本間 希樹 先生

2019年4月、ブラックホール画像が発表されました。ブラックホールの撮影は、その存在を視覚的に示したことで、銀河の中心にある天体が巨大ブラックホールであることが確実にされたことなど、100年にわたる疑問に終止符を打つ成果となったことをこの講演で知りました。撮影にまつわること、ブラックホールの謎、研究の最前線、そしてブラックホール撮影を成功に導いた電波天文学の魅力についてもわかりやすく教えていただきました。ブラックホールとは、宇宙空間に存在する極めて高密度で強い重力のために、物質だけでなく光さえ脱出することができない天体であるということを確認することができた講演でした。



令和3年度 サイエンスヒルズこまつ科学賞贈呈式

令和4年3月6日(日)

サイエンス功労賞	株式会社 小松村田製作所
チャレンジ賞	右形 奏汰さん
ホープ賞	西川 帝志さん 木場 瑛 さん
〃	辻 観誠さん 加藤 瑞季さん
〃	小島美姫瑛さん 越後 雄介さん
〃	内野 央輔さん 村井 心結さん



みなさんおめでとうございます。